

東林館高等学校 通信教育実施計画

科目名(単位数)		社会福祉基礎				
対象年次		期別	必要面接時数	レポート数		
原則3年次		通年	4	12		
科目の概要	社会福祉の意義や理念、高齢者福祉やコミュニケーションについて学びを深め、多様な社会について知る					
科目の目標	社会福祉の基礎的な知識を身に付け、自分の考えの基礎となるものを育てる					
年間学習計画・学習のねらい	学習内容	到達目標	スクーリング回	レポート回	試験範囲	
	第1編 社会福祉の理念と意義 第1章 生活と福祉	社会福祉を知り、それぞれの権利について考えながら差別や偏見、人種差別などの人権問題について学びを深める。	1	1	前期	
	第1編 社会福祉の理念と意義 第2章 社会福祉の理念	人権保障の歴史的経過を理解するとともに、社会福祉の理念「ノーマライゼーション」について学ぶ。		2		
	第1編 社会福祉の理念と意義 第2章 人間の尊厳と福祉社会の創造	福祉社会の形成には、福祉コミュニティづくりや共生社会づくりが必要であることを理解し、新たな福祉社会の創造に向け、行政やボランティア活動が果たすべき役割について学ぶ。	2	3		
	第2編 社会福祉の歴史と福祉社会の課題 第1章 諸外国における社会福祉 第1節イギリスにおける社会福祉の発展(1)	救貧から福祉までの歴史の変遷を理解するとともに、各時代が担った意義について理解し、福祉国家や、社会福祉と保健医療の連携によるケアマネジメントシステムについて理解し、それらが日本に与えた影響について学ぶ。		4		
	第2編 社会福祉の歴史と福祉社会の課題 第1章 諸外国における社会福祉 第3節アメリカにおける社会福祉の発展(1)	アメリカ社会の形成過程を知り、ソーシャルワークの発展や社会保障法について理解し、その意義について学び、自立生活運動への発展、公的医療制度について理解する。				
	第2編 社会福祉の歴史と福祉社会の課題 第1章 諸外国における社会福祉 第5節北ヨーロッパの社会福祉	スウェーデン・デンマークを中心とした北欧諸国の福祉国家成立までの歩み、ノーマライゼーションの考え方を活かした障害者福祉施策や高齢者関連施策について理解し、ドイツにおける社会保障制度の確立、東西ドイツ統一後の介護保険制度の制定、フランスにおける子育て支援に関連した手当制度について学びを深める。				
	第2編 社会福祉の歴史と福祉社会の課題 第2章 日本における社会福祉	恤救規則に代表される政府による救済制度や近代社会福祉における先覚者たちの取り組みを学び、方面委員制度、セツルメント活動といった地域福祉における取り組みが現代の地域福祉にどのような影響を及ぼしているかを理解する。	3	5		後期
	第2編 社会福祉の歴史と福祉社会の課題 第2章 日本における社会福祉 第4節戦後の混乱期から福祉三法体制の確立へ	生活保護法や福祉三法体制の成立過程を理解し、時代の流れに沿ってどのような社会福祉改革に変化したか学ぶ。障害者福祉における取り組み、障害者基本法や障害者基本計画に代表される我が国の具体的な実践について理解する。				
	第3編 生活を支える社会福祉・社会保障制度 第1章 社会福祉・社会保障制度の意義と役割	社会保障制度における社会福祉の位置づけを理解するとともに、時代の変化に伴い、地域社会の中で求められる社会福祉のあり方について知る。				
	第3編 生活を支える社会福祉・社会保障制度 第3章 身体障害者の現状と課題 第4節 障害者の生活支援	障害者総合支援法が定める目的、障害者福祉サービスの体系や利用の手続きについて理解し、精神障害者やその制度サービスが社会参加の実現にどのように関わっていくかについて学ぶ。	6			
	第3編 生活を支える社会福祉・社会保障制度 第4章 高齢者福祉 第1節 人口の高齢化と高齢者福祉	少子高齢社会について理解するとともに我が国が抱える課題、新たな社会を創造していくにあたっての方向性を学ぶ。また、介護保険制度成立までの経緯、制度の概要について理解し、今後の介護保険制度の課題について学びを深める。	7,8			
	第3編 生活を支える社会福祉・社会保障制度 第4章 高齢者福祉 第7節 認知症ケア	認知症の症状や地域密着型サービスを中心とする認知症ケアのサービスについて理解し、その意義について学ぶ。	9			
	第3編 生活を支える社会福祉・社会保障制度 第5章 生活支援のための公的扶助 第2節 生活保護の種類と基準	生活保護制度の保護の種類及び基準を理解するとともに、その意義について学ぶ。				
	第3編 生活を支える社会福祉・社会保障制度 第6章 国民生活を支える社会保障制度	我が国の社会保険制度の概要を理解するとともに、その意義について学ぶ。				
	第4編 人間関係とコミュニケーション 第1章 コミュニケーションの基礎 第1節 コミュニケーションの意義・役割	コミュニケーション活動が本来持つ意義や役割について知り、言語的、非言語的コミュニケーションや近年広がりみせる情報技術を利用したコミュニケーションについて学び、利用者との信頼関係の構築に必要な不可欠な傾聴、受容、共感の姿勢の意義について理解する。	4	10~12		
第4編 人間関係とコミュニケーション 第3章 社会福祉援助活動の概要 第1節 個別援助技術の活用と福祉活動	個別援助技術の原則、展開過程を理解するとともに実際の援助活動の中でどのような意義を持つか考察する。					
評価方法	<p>年度末の成績評価は下記の通り行う。 レポート:50% スクーリング:15% 試験:35% レポート:教科書や学習書を活用し、取り組むこと。 スクーリング:年間計画に従い、各自で予習・復習に取り組むこと。 試験の得点:追試験の得点は、定期試験の得点と同等には扱わない。</p>					
単位の修得	<p>①レポート:締め切りまでに所定のレポートを提出し、合格すること。 ②スクーリング:年間4時間出席すること。 ③試験:前期試験・後期試験を受け、合格すること。</p>					
使用教科書等	「社会福祉基礎」 実教出版					
学習上の留意点	スクーリングの進行にあわせて復習をし、レポートに取り組みましょう。					